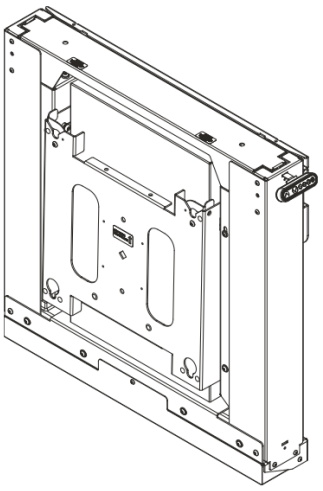
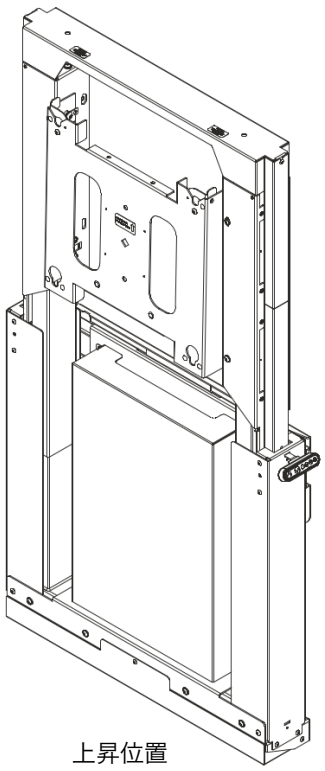
取扱説明書

大型電動昇降式壁掛けマウント

型番 XSD1U



下降状態（標準運用）



上昇位置

XSD1U

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- ●お客様の安全のため、傾斜のない平らな場所に設置してください。
- ●ディスプレイを取り付ける際は必ず4名以上で行い、ケガや事故の無いように注意して設置してください。
- ●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- ●指定している高さ以上に設置しないようにしてください。
- ●地震などの災害発生時には転倒の恐れがありますので、ディスプレイスタンドに近寄らないようにしてください。
- ●デモなどで昇降を繰り返すと、モーター過熱を防ぐため、安全機構が働き一時的に操作を受け付けなくなります。

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告
作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠警告
部品を改造しないでください。また、破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠警告
取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

⚠警告
ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定金具類は、製品に付属しているアンカーやファスナー等に関わらず、壁の材質や構造に適した固定金具を別途お買い求めの上、適切に施工してください。

⚠警告
開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。

⚠警告
作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください、指をはさまないようにしてください。

⚠警告
ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定していることをご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぷんにご注意ください。

⚠注意
運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前に、確実に商品の内容を確認してください。

設 置 の 前 に

■設置場所について

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
  幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法と設置環境についてのご注意

1.本製品を組み立てるネジ等は、付属品を用い、十分な強度を持ったものをご用意ください。

2.本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイスタンドの適切な設置場所を決めてください。

3.本製品の組み立てに際してビス固定する場合は、先に仮止めしてから本締めをしてください。

4.取り付けることができるディスプレイおよびアクセサリーのトータルは140.6kgを超えないようにしてください。

5.本製品に取り付けることができるディスプレイサイズは100インチ以内です。

■本製品の電気的仕様と特性

1.本製品は単相AC100-240V 50/60Hz定格消費電力450Wです。

2.本製品は二重絶縁構造となっており、接地（アース）は必要ありません。

3.本製品のデューティサイクルは10%で、最大連続2分間動作後は18分の冷却期間を置き、昇降操作を行わないようにしてください。冷却期間はモーター過熱保護のため動作が停止します。

4.本製品には安全機能が実装されており、動作中の衝撃や他の機器にはさんだりケーブルがからまるなどの場合には反対方向に数センチ動作したあとに停止します。

5.動作中の衝撃や異常負荷時には保護回路が働き、動作の一切を受け付けなくなることがあります。
この場合は、コントローラーの▼(降下)ボタンを長押しし、スタンドを一番低い位置にしてください。
この時、リセット状態となり、高さ設定のメモリーが解除されますので再設定してください。

製 品 保 証 規 定

■ 保証内容

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、**無償修理させていただきますので、**お買い上げの販売店または**弊社にお申し出ください。**
なお、輸送による場合は弊社までの送料のご負担をお願いいたします。

■ 無償保証範囲

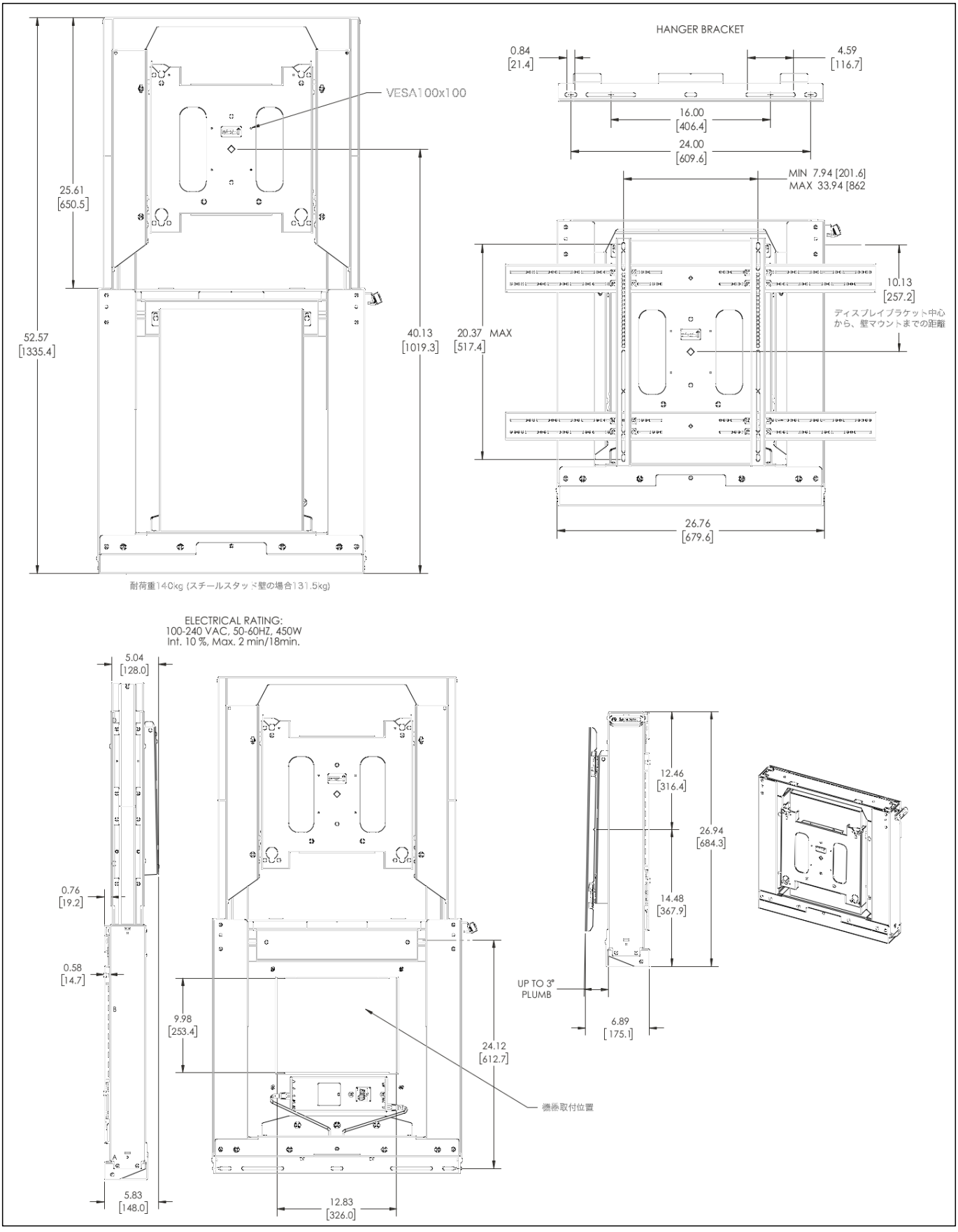
製品が故障した場合、お客様はお買い上げの日より一年間において、弊社に対して無償修理を依頼することができます。

ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。
1) 故障した商品をお送りいただけない場合。
2) 弊社が動作保証するとして指定した機器以外でご使用の場合。
3) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
4) 火災・水害など天変地異などより故障した場合。
5) 輸送中の振動・落下により故障・破損した場合。
6) 弊社製品以外の製品に起因しての故障の場合。
7) 弊社以外で修理・調整・改造された場合。

■ 有効範囲

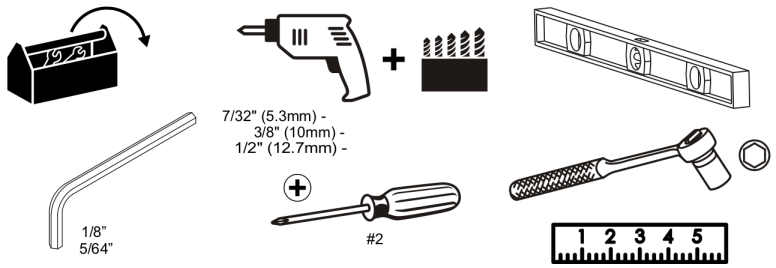
本製品保証規定では本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束いたします。従ってこの製品保証規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社までご相談ください。

■各寸法図


VESA100x100
25.61
[650.5]
52.57
[1335.4]
40.13
[1019.3]
耐荷重140kg (スチールスタッド壁の場合131.5kg)
HANGER BRACKET
0.84
[21.4]
4.59
[116.7]
16.00
[406.4]
24.00
[609.6]
MIN 7.94 [201.6]
MAX 33.94 [862
10.13
[257.2]
ディスプレイブラケット中心
から、壁マウントまでの距離
20.37 MAX
[517.4]
26.76
[679.6]
ELECTRICAL RATING:
100-240 VAC, 50-60HZ, 450W
Int. 10 %, Max. 2 min/18min.
5.04
[128.0]
0.76
[19.2]
0.58
[14.7]
9.98
[253.4]
24.12
[612.7]
5.83
[148.0]
12.83
[326.0]
機器取付位置
12.46
[316.4]
26.94
[684.3]
14.48
[367.9]
UP TO 3°
PLUMB
6.89
[175.1]

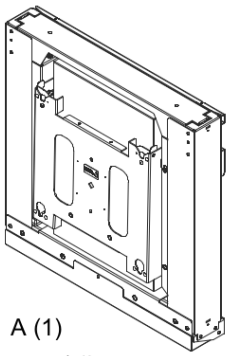
組 立 手 順

■本体の組立に最低限準備いただく工具

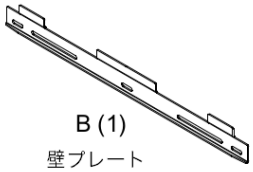


・下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認ください。

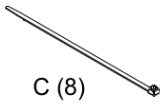
■本製品の封入物



A (1)
XSD1U本体

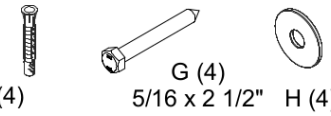


B (1)
壁プレート



C (8)
タイラップ

コンクリートアンカー
（壁のコンディションに合ったものを別途お買い求めください）

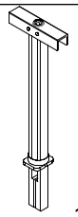


F (4)

G (4)
5/16 x 2 1/2"

H (4)
5/16"

トグラー
（壁のコンディションに合ったものを別途お買い求めください）



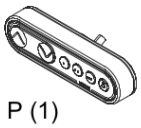
J (4)
[1/4-20 Toggler]

K (4)
1/4-20 x 2 1/2"

L (4)
1/4"

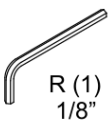
M (1)
6-32 x 3/8"

N (2)
#10-24 x 1/2"



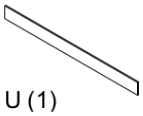
P (1)
コントロールパッド

Q (1)
コントロールパッド
ブラケット

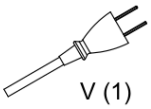


R (1)
1/8"

S (1)
5/64"



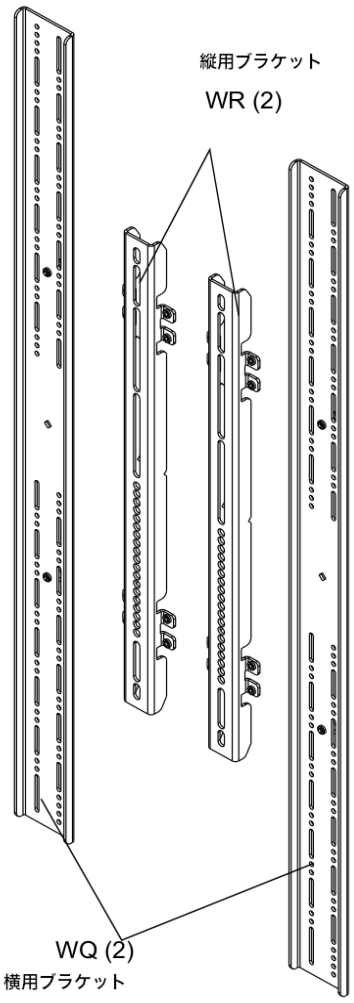
U (1)
両面テープ



V (1)
電源コード

組 立 手 順

■ディスプレイブラケット



Bag A WA (4) M4 x 12mm	**Bag B** WB (4) M4 x 20mm	**Bag C** WC (4) M4 x 25mm
Bag D WD (4) M5 x 12mm	**Bag E** WE (4) M5 x 20mm	**Bag F** WF (4) M5 x 25mm
Bag G WG (4) M6 x 12mm	**Bag H** WH (4) M6 x 20mm	**Bag I** WI (4) M6 x 25mm
Bag J WJ (4) M8 x 12mm	**Bag K** WK (4) M8 x 20mm	**Bag L** WL (4) M8 x 30mm
Bag M WMA (8) ネスティングワッシャー	WMB (4) ユニバーサルワッシャー	

WN (8)
#10-24 x 1/2"

WP (1)
1/8”

■ 組み立ての前に

⚠ 製品の耐荷重を超えると、重傷または機器の損傷につながる可能性があります。設置取付業者の責任において、本製品に取り付けられているプロジェクターを含むすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量が140.6 kgを超えないようにしてください。

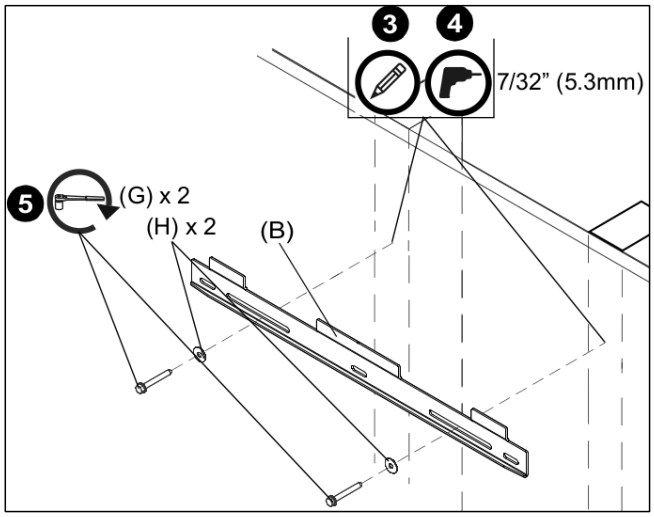
■ 木製壁への取り付け

1. 間柱ファインダーを使用して、約40～46cm（例：一尺五寸）または約60cm（例：二尺）間隔の間柱を見つけます。無い場合は、壁ブラケットのボルトピッチに合うように補強を入れてください。

2. 上部ブラケット (B) を、設置を希望する※画面中心高さから257mm上の取り付け位置の壁に取り付けます。
水準器を使用して、レベルを合わせてください。
(図 1 を参照)
※画面中心高さ=ディスプレイがブラケットの中心を通る場合

3. 各スタッドの中心にある取り付け位置の穴の位置にケガキ印を付けます。 (図 1 を参照)

4. 印を付けた穴の2箇所に 5.3mmの下穴を開けます。
(図 1 を参照)

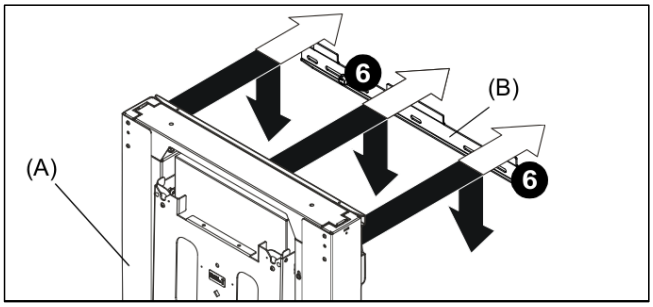


【図-1】

5. 5/16 x 2 1/2 インチの六角頭キャップ スクリュー (G) を 5/16 インチのワッシャー (H) に通し、上部ブラケットの穴と壁のドリル穴に取り付けます。 (図 1 を参照)

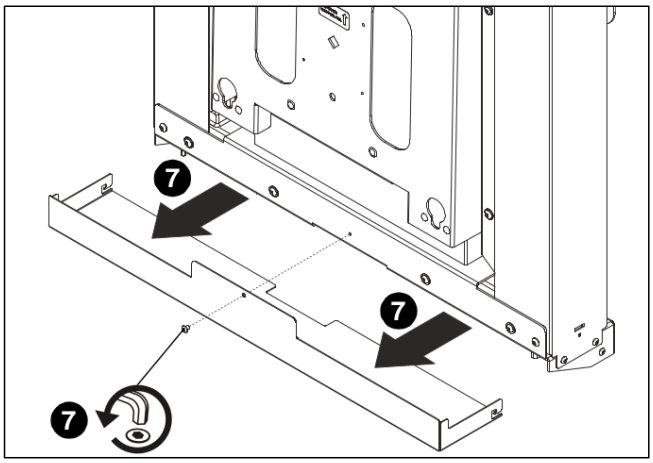
⚠ 注意: XSD1U アセンブリを壁に取り付けるには、2名以で行い、適切な持ち上げ方で作業してください。

6. XSD1U アセンブリ (A) を上部ブラケット (B) に慎重に掛け、マウントが上部ブラケット (B) の上部フランジの後ろにスライドすることを確認します。 (図 2 を参照)



【図-2】

7. XSD1U アセンブリ (A) に固定しているネジを外し、下部カバーを取り外します。 (図 3 を参照)

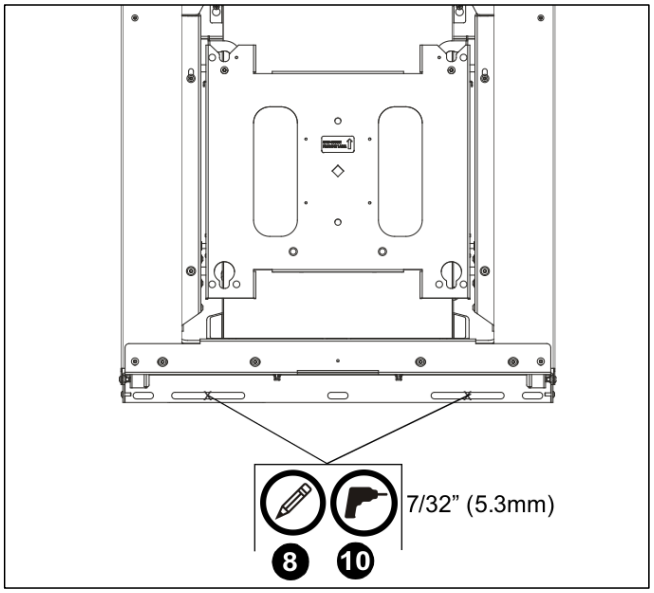


【図-3】

8. 下部の 2 つの取り付け穴の穴の位置に印を付けます。
(図 4 を参照)

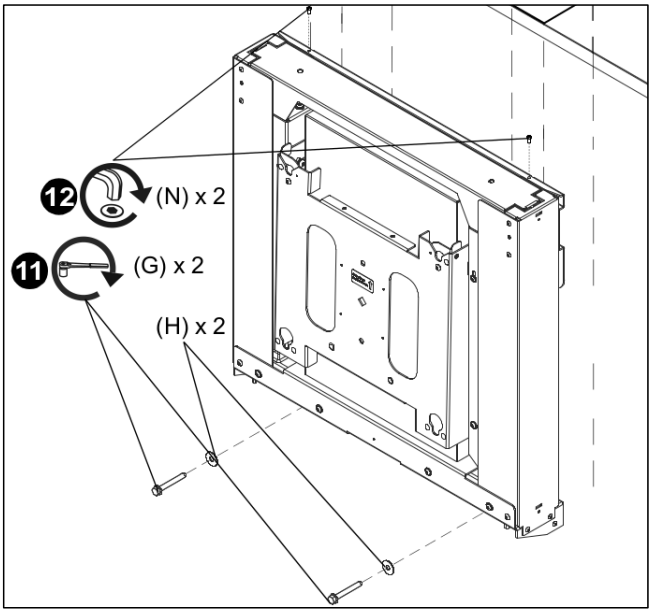
9. マウント (A) を上部ブラケットから取り外します。

10. 印を付けた穴の位置に 2カ所の 5.3mmの穴を開けます。 (図 4 を参照)



【図-4】

11. 2箇所の 5/16 x 2 1/2”の六角頭ネジ (G) を 2箇所の 5/16”のワッシャー (H) に通し、マウント下部の取り付け穴と壁のドリル穴に取り付けます (図 5 を参照)。

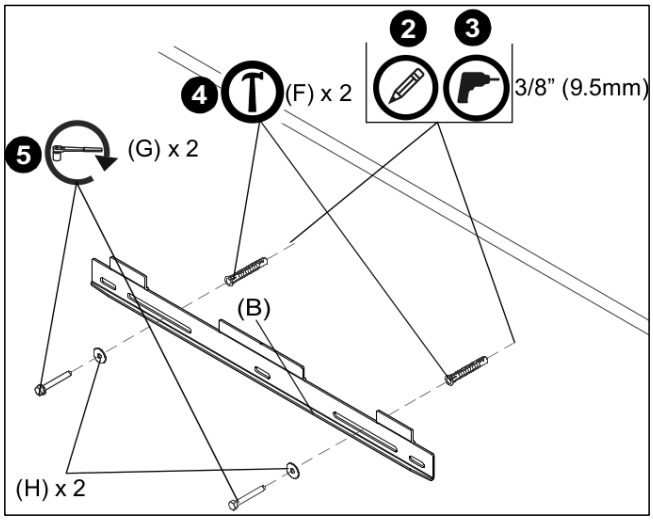


【図-5】

12. #10-24 x 1/2”のボタンネジ (N) を 1/8”の六角レンチ (R) で、マウントを壁に固定します。 (図 5 を参照)

■ コンクリート壁への設置

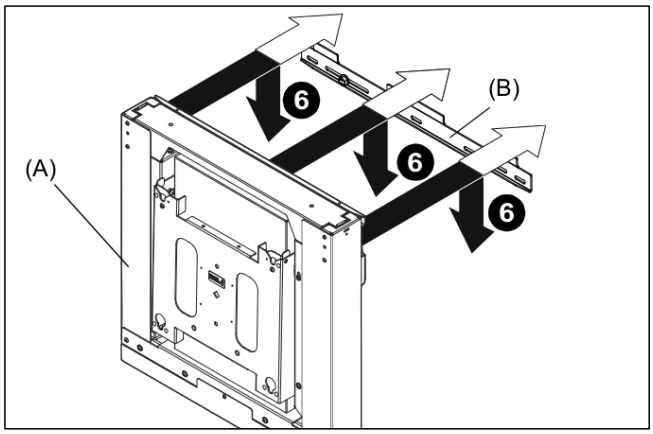
1. 上部ブラケット (B) を、画面の中心から 257mm上の希望の取り付け位置の壁に取り付けます。
2. 各取り付けスロットの中心付近の各取り付け位置に穴の位置をマークします。
3. 印を付けた穴の位置に 9.5mmの穴を 2つ開けます。
4. コンクリート アンカー (F) をハンマーを使用して各パイロット穴に取り付け、アンカーが壁と面一になるようにします。
5. 2箇所の 5/16 x 2 1/2 インチの六角頭ネジ (G) を5/16”のワッシャー、上部ブラケット (B) の穴、およびコンクリート アンカー (F) に取り付けます。
(図 6 を参照)



【図-6】

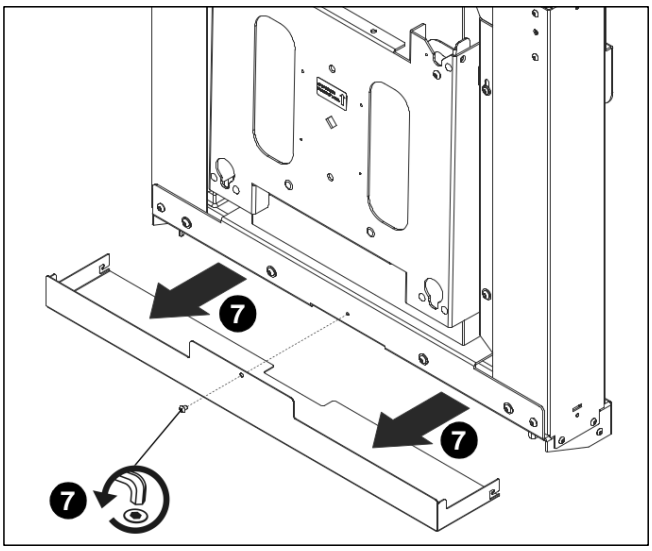
⚠ 注意：XSD1U アセンブリを壁に取り付ける際、たいへん重いので、2人以上で行ってください。

6. XSD1U アセンブリ (A) を上部ブラケット (B) に掛けます。マウントのティアドロップ型の取り付け穴をブラケットのサムナットの上に置きます。 (図 7 を参照)



【図-7】

7. 下部カバーを XSD1U アセンブリ (A) に固定しているネジを外し、下部カバーを取り外します。 (図 8 を参照)

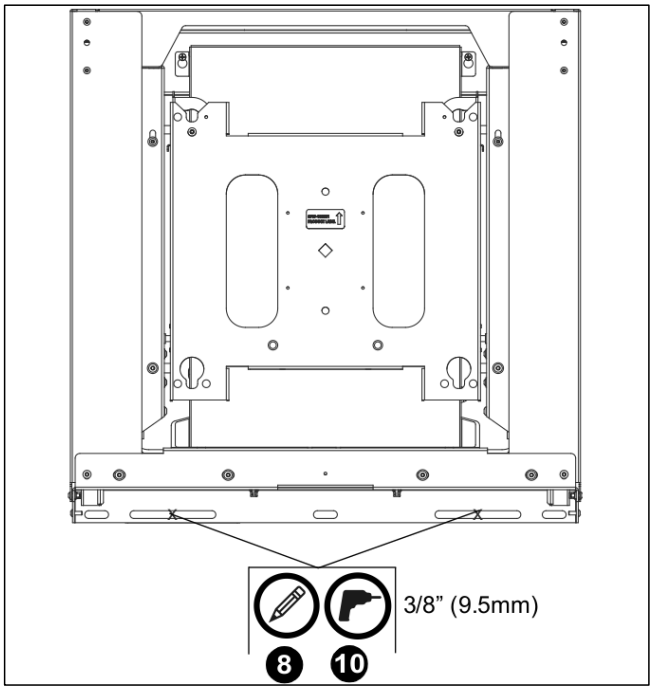


【図-8】

8. 下部の 2 つの取り付け穴の穴の位置に印を付けます。
(図 9 を参照)

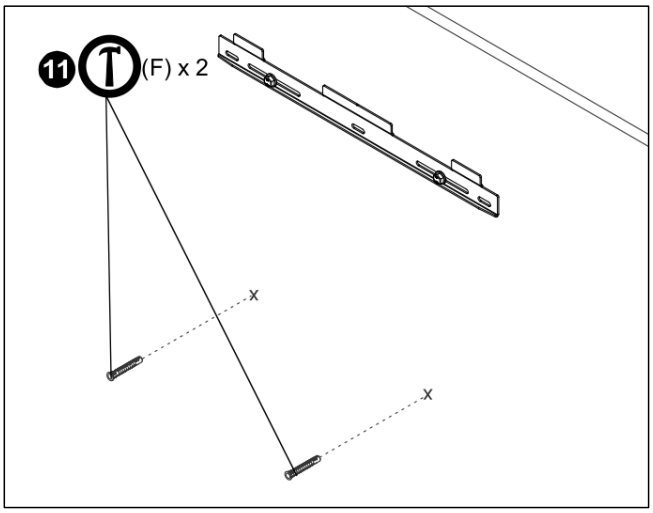
9. XSD1U本体 (A) を上部ブラケットから取り外します。

10. 印を付けた穴の位置に 9.5mmの穴を 2 つ開けます。
(図 9 を参照)



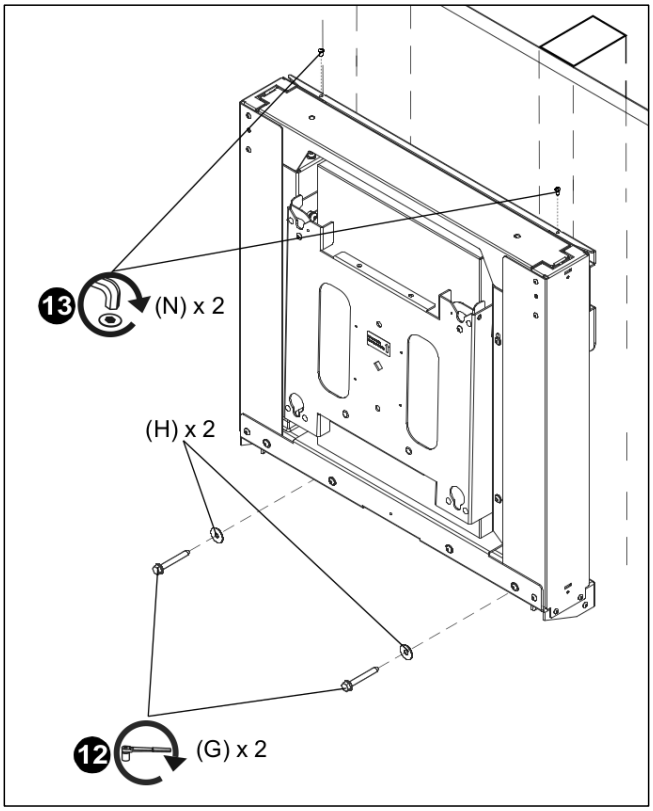
【図-9】

11. ハンマーを使用してアンカー (F) を各パイロット穴に取り付けます。アンカーが壁と面一になるようにしてください。
(図 10 を参照)



【図-10】

12. XSD1U本体 (A)を上部ブラケットに掛け直し、2つの 5/16 x 2 1/2"の六角頭ネジ (G) を 2つの 5/16 インチ ワッシャー (H) に通し、マウントの下部の取り付け穴とコンクリート アンカーに取り付けます。
(図11参照)



【図-11】

13. #10-24 x 1/2 インチのボタン ヘッド キャップ スクリュー (N) と 1/8 インチの六角レンチ (R) を 2 本使用して、マウントを壁に固定します。 (図 11 を参照)

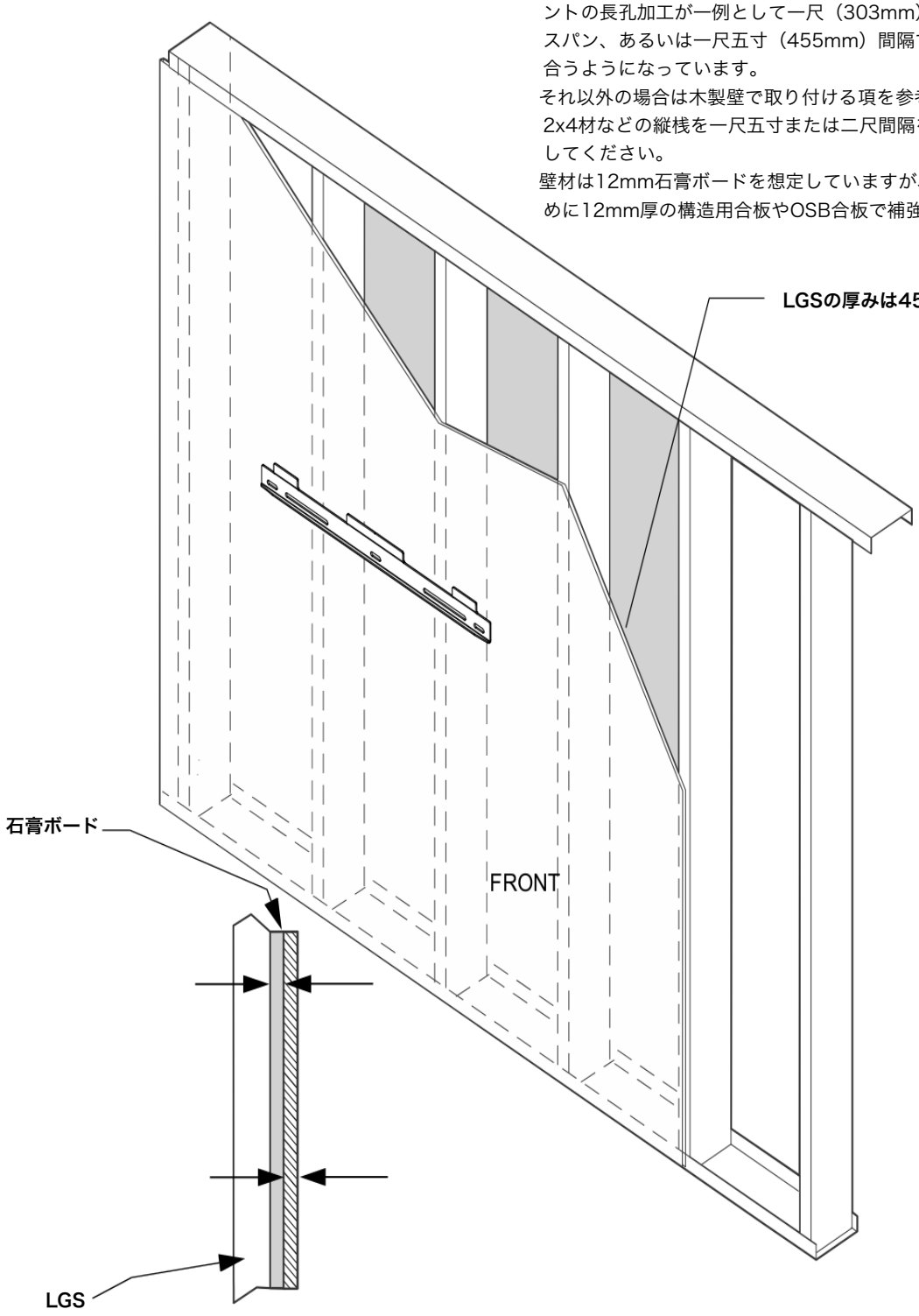
■ スチールスタッド壁（LGS）への取り付け

設置場所が 11 または 12 ページに示されている要件を満たしていることを確認します
(図 12) または (図 13) を参照。

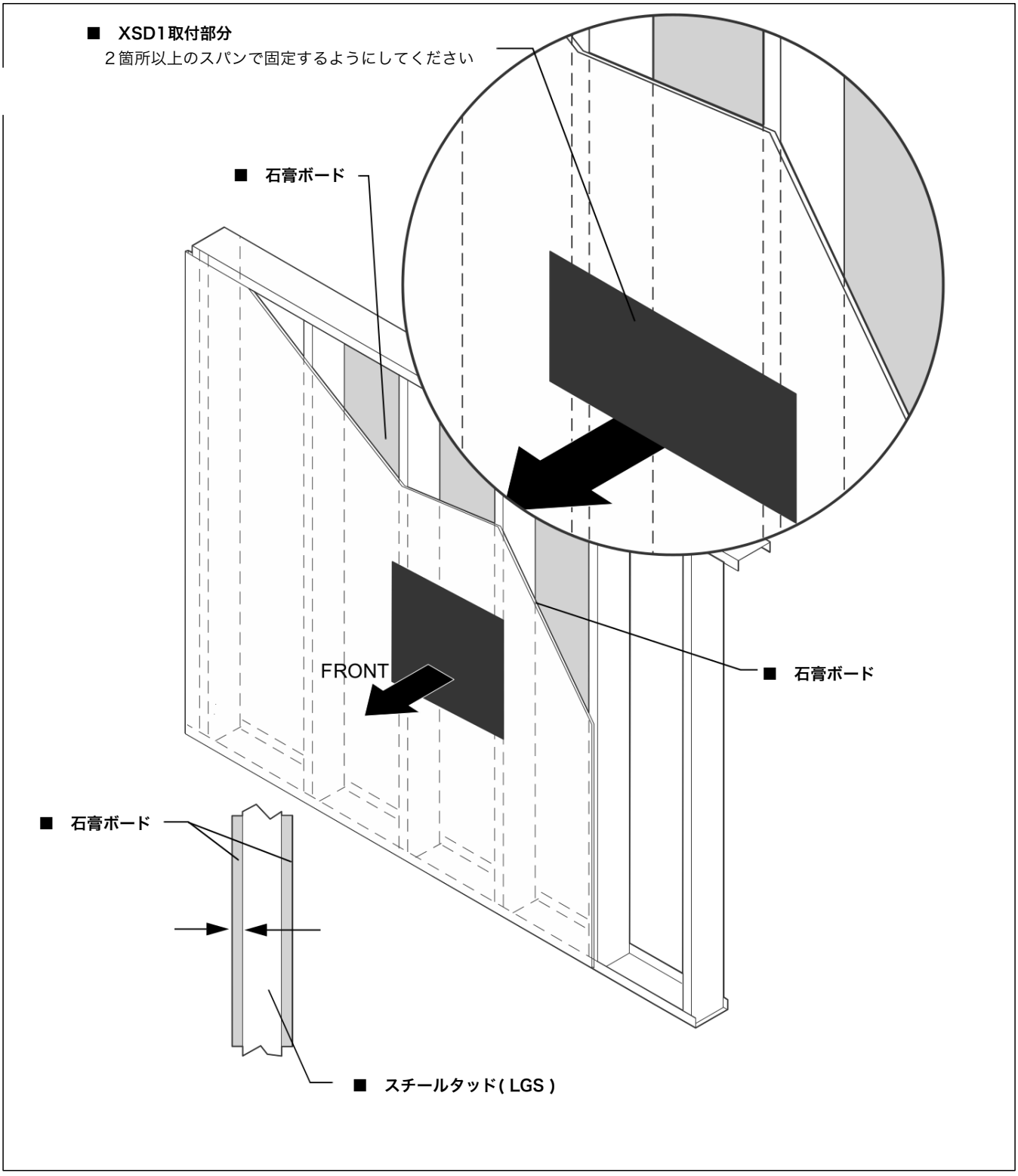
■インターフェイスアセンブリーの取り付け

■　スチールスタッド壁（LGS）への取り付け

スチールスタッド壁（LGS）に取り付ける場合は、壁取付マウントの長孔加工が一例として一尺（303mm）間隔の場合は2スパン、あるいは一尺五寸（455mm）間隔で取り付ける際に合うようになっています。
それ以外の場合は木製壁で取り付ける項を参考にしていただき2x4材などの縦桟を一尺五寸または二尺間隔を2本いれて補強してください。
壁材は12mm石膏ボードを想定していますが、荷重を受けるために12mm厚の構造用合板やOSB合板で補強してください。



【図-12】

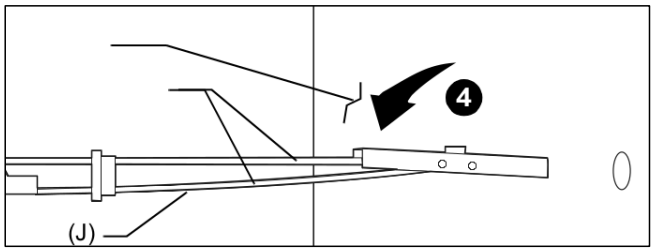

■ XSD1取付部分
２箇所以上のスパンで固定するようにしてください
■ 石膏ボード
FRONT
■ 石膏ボード
■ 石膏ボード
■ スチールタッド(LGS)

【図-13】

8. 下部の 2 つの取り付け穴の穴の位置に印を付けます。
(図 9 を参照)

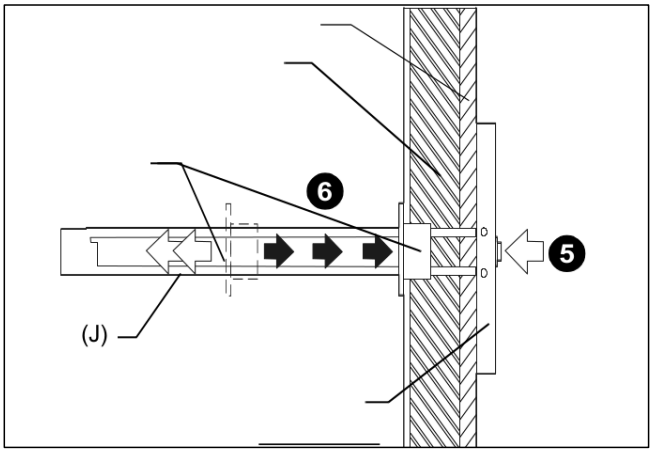
9. XSD1U本体 (A) を上部ブラケットから取り外します。

10. 印を付けた穴の位置に 3/8 インチの穴を 2 つ開けます。
(図 9 を参照)



【図-14】

5. プラスチック ストラップをアンカー (J) に固定し、チャネルが壁の後ろにぴったりと合うまでアンカーを壁から引き離し、アンカー チャネルがスタッドに垂直に配置されていることを確認します。 (図 15 を参照)

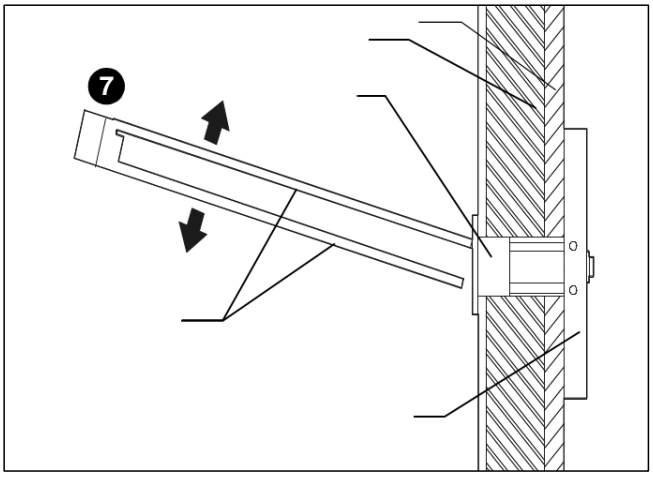


【図-15】

6. アンカー (J) のプラスチック キャップを、キャップのフランジが壁と面一になるまで壁に向かってスライドさせます。
(図 15 を参照)

7. 壁のアンカーのプラスチック ストラップを左右に押し、プラスチック キャップのフランジの高さでストラップをスナップオフします。 (図 16 を参照)

8. もう一方の取り付け穴について、手順4から7を繰り返します。

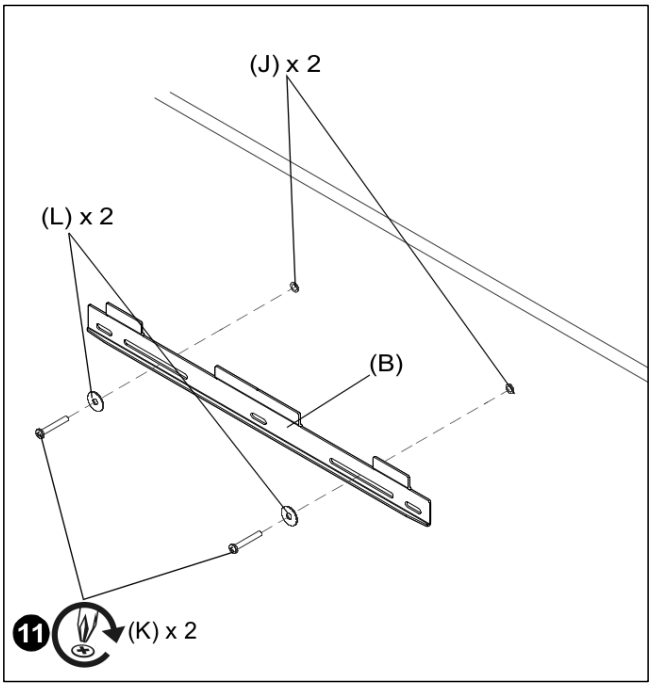


【図-16】

9. 上部ブラケット (B) をアンカーの上に置き、マウントの取り付け穴をアンカーの穴に合わせます。
(図 17 を参照)

10. ハンマーを使用してトグル アンカー (J) を各パイロット穴に取り付けます。アンカーが壁と面一になるようにします。
(図 17を参照)

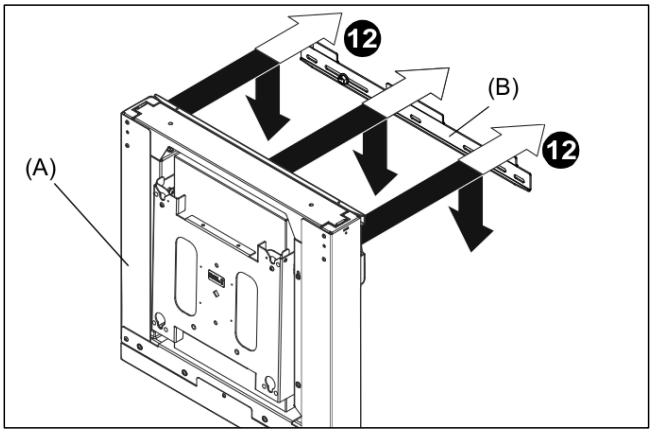
11. 2箇所の 1/4-20 x 2 1/2”のプラスなべ小ネジ (K) を、2 つの 1/4 インチ ワッシャー (L)、上部ブラケット (B) の穴、およびトグル アンカー (J) に通して取り付けます。
(図 17を参照)



【図-17】

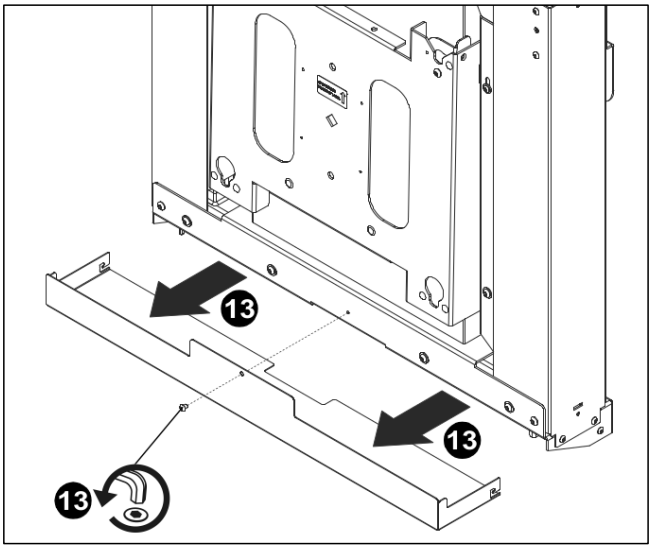
注意: XSD1U本体 (A)を壁に取り付けるには、適切な持ち上げ方を使用し、少なくとも２名で行ってください。

12. XSD1U本体 (A) を上部ブラケット (B) に掛けます。マウントのティアドロップ型の取り付け穴をブラケットのサム ナットの上に置きます。
(図 18 を参照)



【図-18】

13. 下部カバーを XSD1U本体 (A) に固定しているネジを外し、下部カバーを取り外します。
(図 19 を参照)

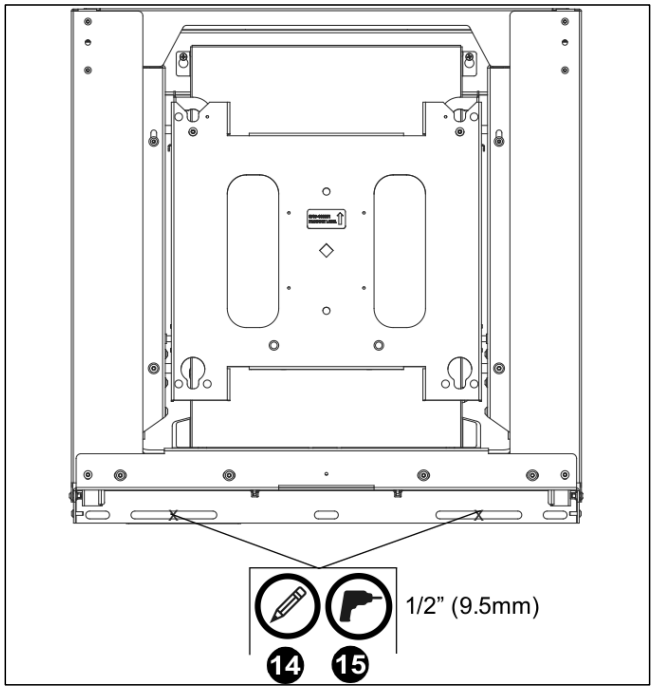


【図-19】

14. 下側の 2 つの取り付け穴の穴の位置に印を付けます。
(図 20 を参照)

15. マウント (A) を上部ブラケットから取り外します。

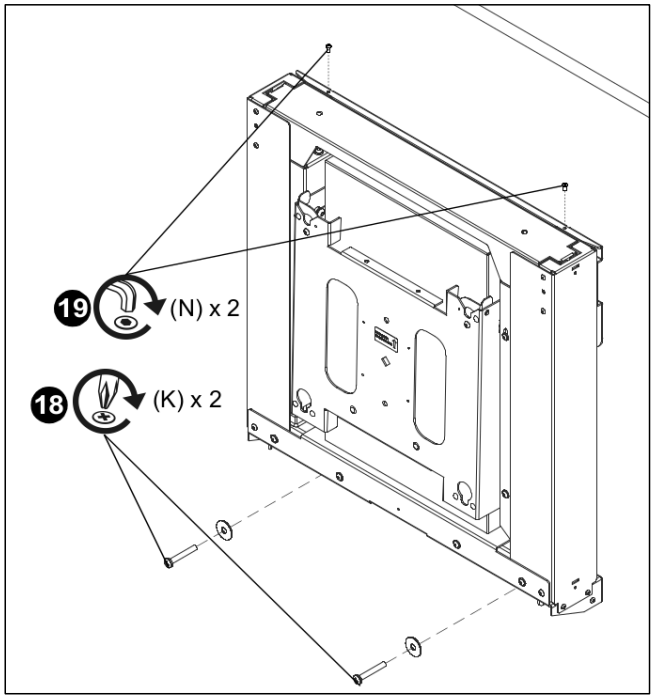
16. 印を付けた穴の位置に 2 つの 1/2 インチの穴をドリルで開けます。
(図 20 を参照)



【図-20】

17. このセクションの手順 4 ～ 7 に従って、トグル アンカー (J) を各パイロット ホールに取り付けます。

18. ウォール マウントを上部ブラケットに戻して、2 つの 1/4-20 x 2 1/2 インチのプラスなべ小ネジ (K) をマウントの下部の取り付け穴からトグル アンカー (J) に取り付けます。
(図 21 を参照)

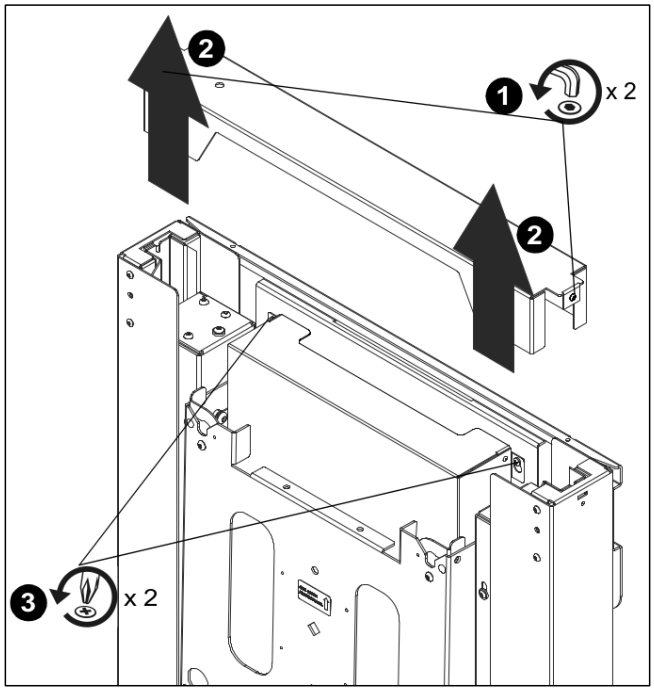


【図-21】

19. 2 本の #10-24 x 1/2 インチのボタン ヘッド キャップ スクリュー (N) と 1/8 インチの六角レンチ (R) を使用して、XSD1U本体 (A)を壁に固定します。
(図 21 を参照)

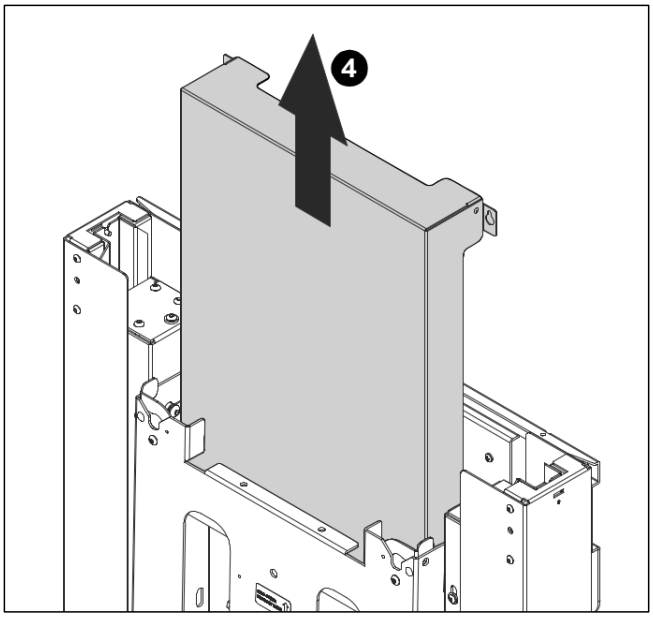
■ 高さ調整のセットアップ

1. 外側のスロットの内側にある 2 つの六角頭のキャップ スクリューをそれぞれ 1/2 回転ずつ緩めて、上部ブラケットを緩めます。 (図 22 を参照)
2. XSD1U本体 (A)から上部カバーを取り外します。
(図 22 を参照)



【図-22】

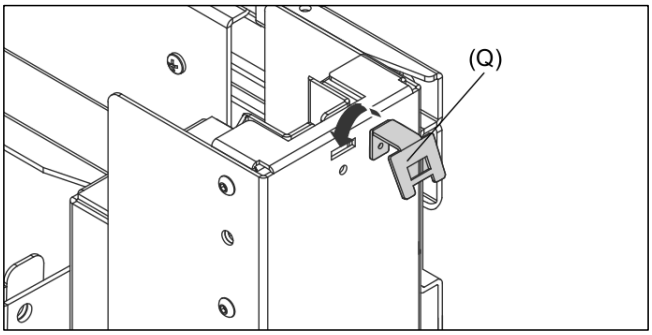
3. 内部カバーを XSD1U本体 (A) に固定している 2箇所のプラスネジを緩めます。 (図 22 を参照)
4. XSD1U本体 (A) からインナーカバーを取り外します。
(図 23 を参照)



【図-23】

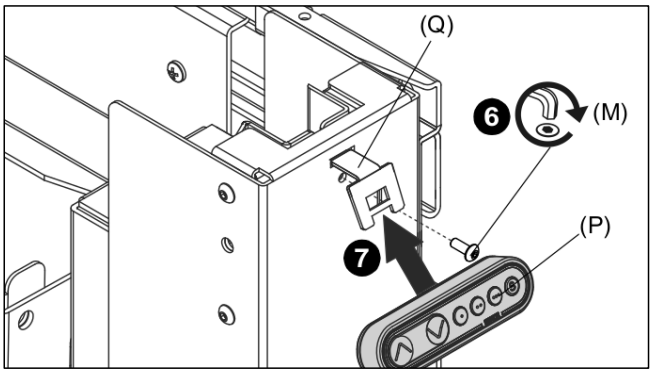
5. コントロール パッド ブラケット (Q) を希望のコントロールパッド位置に取り付けます。ユーザーの好みに応じて、側面、上部、下部のいずれかに取り付けることができます。
(図 24 を参照)

⚠注: コントロールパッド (P) は、両面テープ (U) を使用してディスプレイの下端に取り付けることもできます。これが必要な場合は、ディスプレイのインストール後にスイッチをポート A1 またはA2に直接接続して、ケーブルを初期化して配線します。



【図-24】

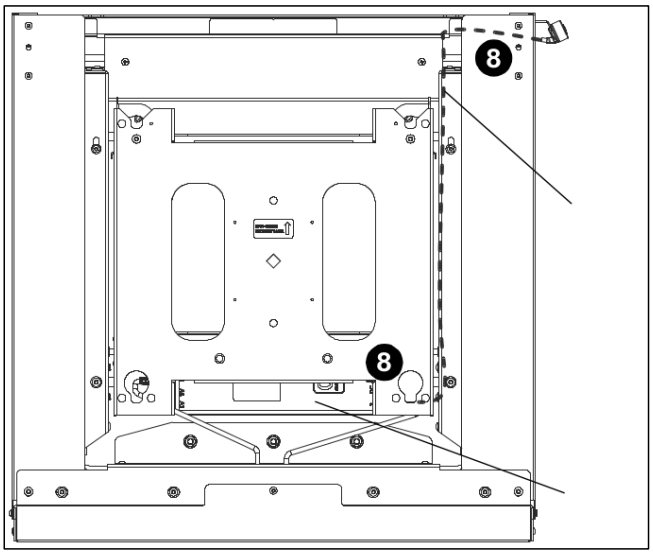
6. #6-32 x 3/8" ボタン ヘッド キャップ スクリュー (M) を使用して、コントロール パッド ブラケット (Q) を固定します。
(図 25 を参照)。



【図-25】

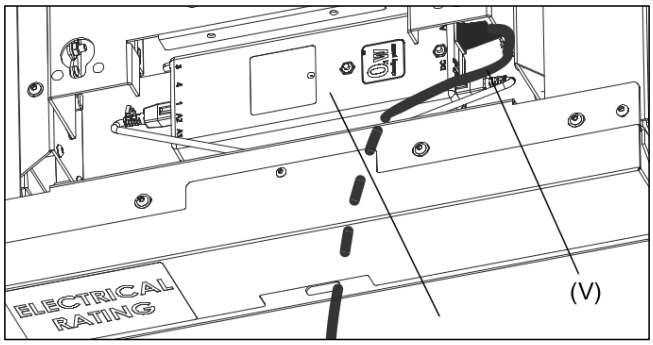
7. コントロール パッド (P) をコントロール パッド ブラケット (Q) に取り付けます。 (図 25 を参照)

8. コントロール パッド ケーブルを配線して、コントロール ボックスのポート A1 または A2 に接続します。
(図 26 を参照)



【図-26】

9. 電源ケーブル (V) をコントロール ボックスと電源に接続します。 (図 27 を参照)

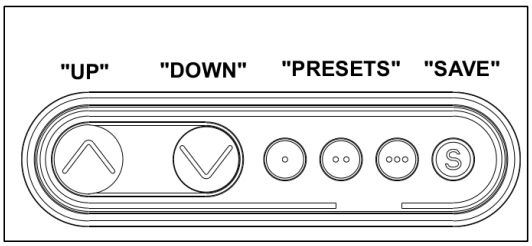


【図-27】

10. 「DOWN」ボタンを 3 秒間押し続けて、リフト機構を初期化します。 (図 28 を参照)

11. ケーブルが干渉したり引っ掛けないように確認しながらマウントブラケット部が最大高さに達するまで「UP」ボタンを押し続けます。 (図 28 を参照)

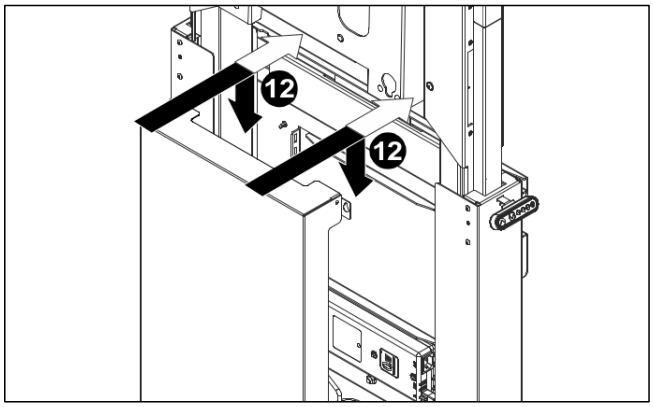
⚠ 注: リフティング メカニズムが正しく機能しない場合は、「トラブルシューティング」セクションを参照してください。



【図-28】

12. 必要に応じて、ディスプレイ信号ケーブルと周辺機器ケーブルを接続します。詳細については、ケーブル管理のセクションを参照してください。

13. 内部カバーを元に戻し、プラスネジを締めて所定の位置に固定します。 (図 29 を参照)

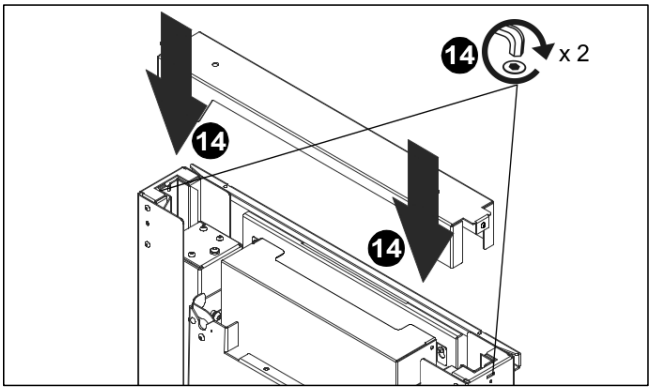


【図-29】

14. マウントブラケット部が最小の高さに達するまで「DOWN」ボタンを押し続けます。

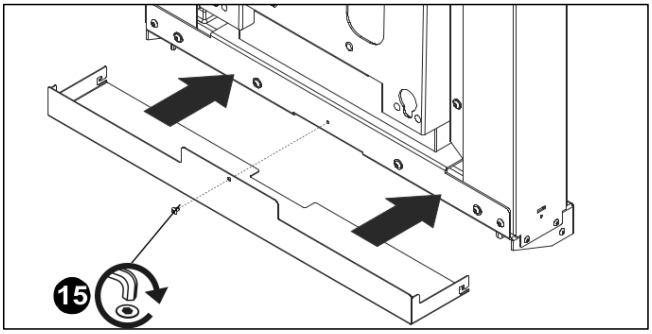
⚠ 注: コントロール パッド (P) がマウントの上部のいずれかの側に取り付けられている場合、上部カバーを再度取り付けるには、マウントを部分的に伸ばす必要があります。

15. トップ カバーを再度取り付け、ボタンネジを締めて所定の位置に固定します。 (図 30 を参照)



【図-30】

16. 底部カバーを再度取り付け、取り外したボタン ヘッド キャップ スクリューで固定します。 (図 31 を参照)



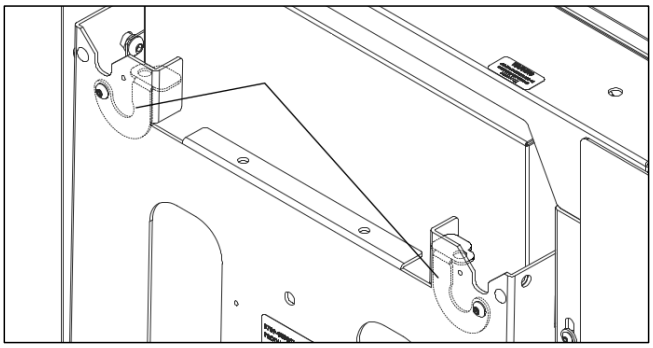
【図-31】

■ ディスプレイの設置

⚠ 警告:
耐荷重を超えると、重大な人身事故や機器の損傷につながる可能性があります。 設置者の責任において本製品に取り付けられているすべてのアクセサリとコンポーネントの合計重量 (ディスプレイを含む) の合計重量が140.6 kgを超えないようにしてください。

2" x 4"-25gaのスチール スタッド壁に取り付ける場合、耐荷重制限は131.5 kgに低下します。

1. 高さが可能な限り低い位置にあることを確認します。
2. ラッチ フラグが「開いた」位置にあることを確認します。 (図 32 を参照)



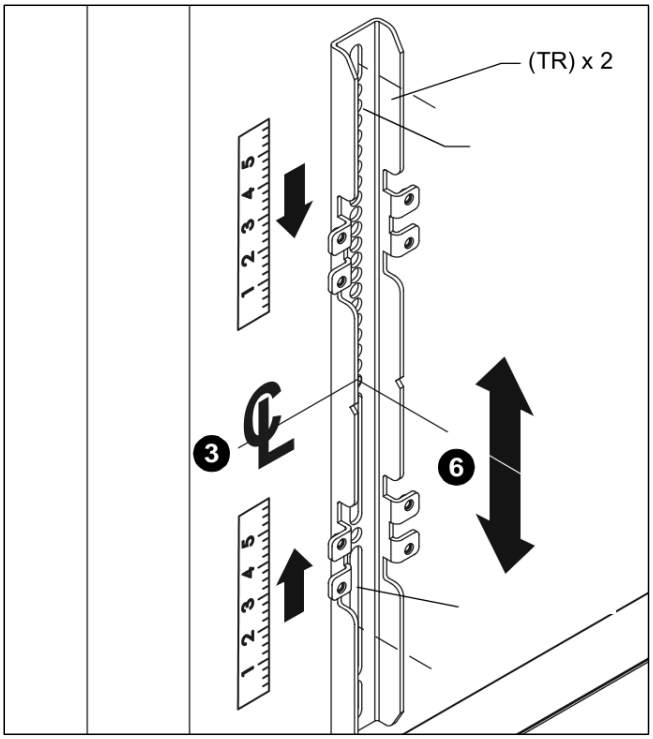
【図-32】

⚠ 警告:
取り付けが不適切な場合、マウントが落下し、重大な人身事故や機器の損傷につながる可能性があります。

付属のネジ類は代用しないでください。製造元が提供または指定したネジ類のみを使用してください。

3. ディスプレイの左側の上部と下部の取り付け穴の間の垂直方向の中心位置を決定し、マークします。 (図 33 を参照)

4. ディスプレイの右側の上部と下部の取り付け穴の間の垂直方向の中心位置を決定してマークします。 (図 33 を参照)



【図-33】

5. 垂直取り付けブラケット (TR) の向きを、取り付け穴が上に、取り付けスロットが下になるようにします。 (図 33 を参照)

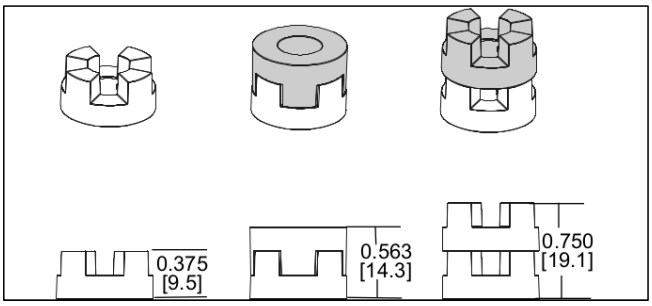
6. 垂直取り付けブラケット (TR) の取り付け穴をディスプレイの上下の取り付け穴に合わせます。

7. 手順 1 で作成したマークが垂直取り付けブラケット (TR) のセンター マークに揃うまで、垂直取り付けブラケット (TR) の位置を調整します。

8. ハードウェア バッグ (TATM) から正しいネジ、ネスティングスペーサー (必要に応じ)、ユニバーサル ワッシャー (必要に応じ) を選択し、ブラケットを画面の背面に取り付けます。
(図 35 を参照)

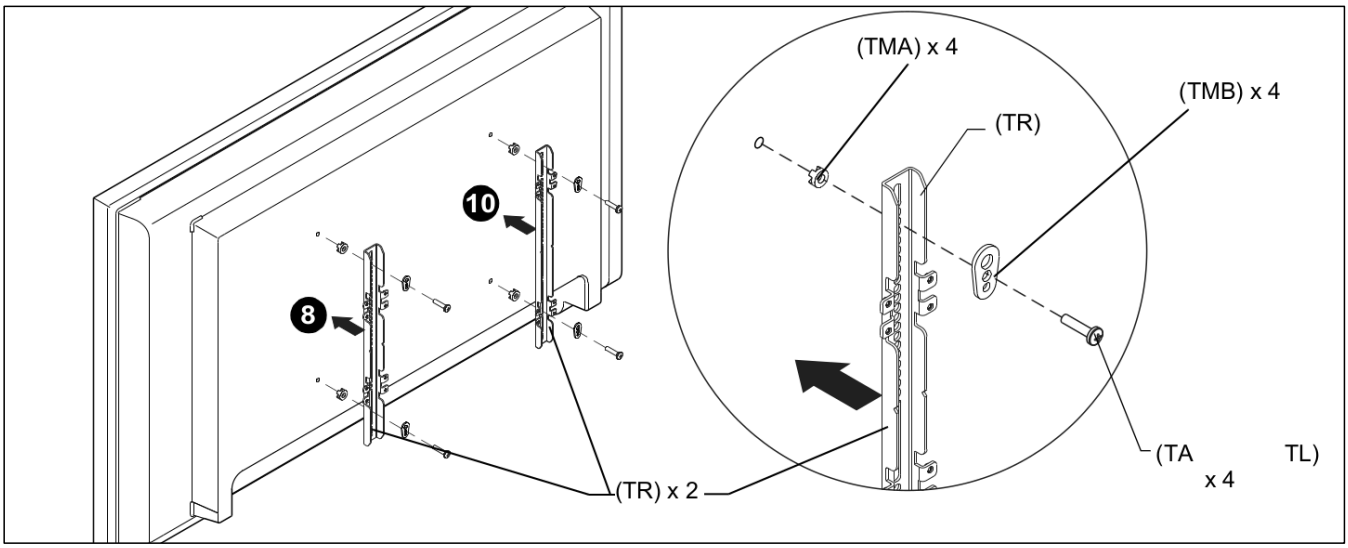
重要！: M8 ネジにはワッシャーは必要ありません。ユニバーサルワッシャー (TMB) は、M4、M5、および M6 のネジでのみ使用してください。

注: ネスティングスペーサー (TMA) は、個別に使用するか、2つを異なる構成で組み合わせて、異なる高さのスペーサーを作成することができます。 (図 34 を参照)



【図-34】

9. ディスプレイの取り付け面がくぼんでいる場合や、突起物または電源ボックスがある場合は、スペーサーと長い取り付け金具をディスプレイと垂直取り付けブラケット (TR) の間に配置する必要があります。
(図 35 を参照)



【図-35】

10. 同じ穴の位置を使用して、右側の垂直取り付けブラケットに対して手順 5 ～ 8 を繰り返し、ブラケットを水平に揃えます。

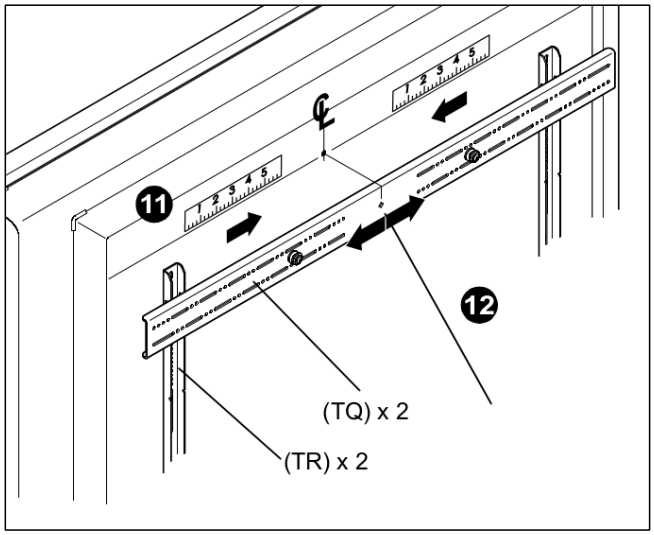
11. ディスプレイの左右の TOP 取り付け穴の間の水平方向の中心位置を決定し、マークします。
(図 36 を参照)

12. ディスプレイの左右の BOTTOM 取り付け穴の間の水平方向の中心位置を決めてマークします。
(図 36 を参照)

13. 上部の水平取り付けブラケット (TQ) の向きを、フランジがディスプレイの方を向き、左右の垂直取り付けブラケット (TR) のくぼんだ領域に収まるようにします。
(図 36 を参照)

14. 上部水平取り付けブラケット (TQ) の位置を調整して、水平取り付けブラケット (TU) の中央の菱形がステップ 11 で作成したマークと一致し、水平取り付けブラケット (TQ) の取り付け穴とスロットが取り付けタブのネジ穴と揃うようにします。左右の垂直取り付けブラケット (TR)。 (図 36 を参照) および (図 37 を参照)

15. 1/8 インチ六角レンチ (TP) を使用して、4 つのボタン ヘッド フランジ付きネジ (TN) を使用して、上部水平取り付けブラケット (TQ) を左右の垂直取り付けブラケット (TR) に固定します (図 37 を参照)。

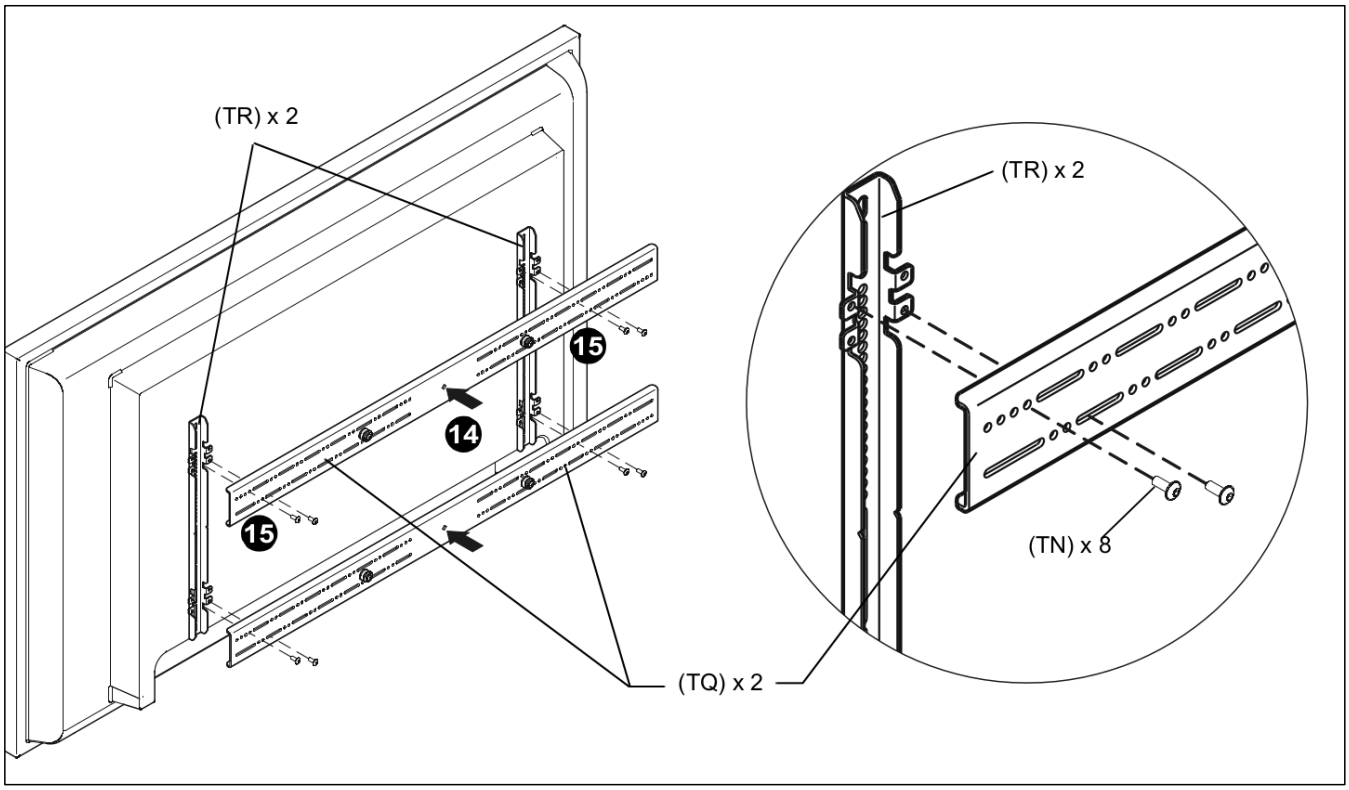


【図-36】

16. 下部の水平取り付けブラケット (TQ) について、ステップ 12 から 15 を繰り返します。

重要！：下側の水平取り付けブラケットを取り付けるときの向きと取り付け穴は、上側の水平取り付けブラケットと同じである必要があります。

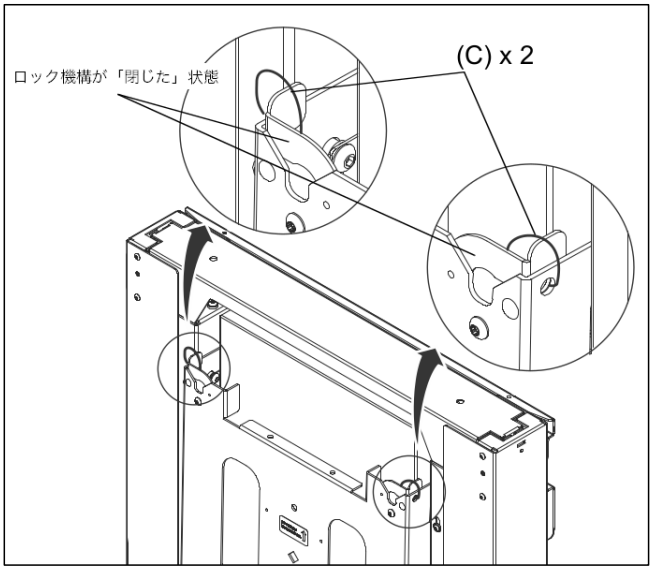
縦に穴またはスロットの端を揃えて、上部と下部のブラケットを揃えます。 (図 37 を参照)



【図-37】

17. マウントを使用する前に、ラッチ フラグが「閉じた」位置にあることを確認してください。

重要！：タイラップ (C) または南京錠 (別売) を使用して、両側の閉じた位置にラッチフラグを固定することを推奨します。(図 38 を参照)

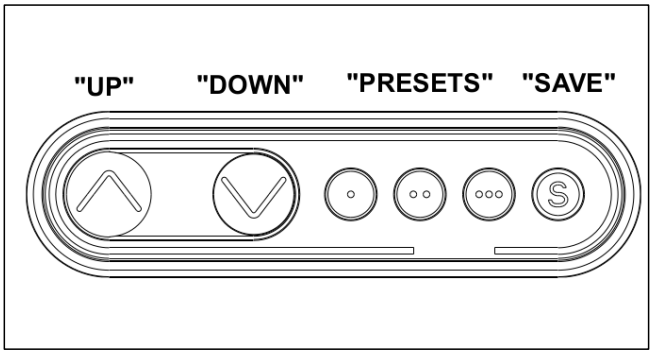


【図-38】

■ 調整

高さ調整

1. 「UP」または「DOWN」ボタンを押して、必要に応じて高さを調整します。 (図 39 を参照)



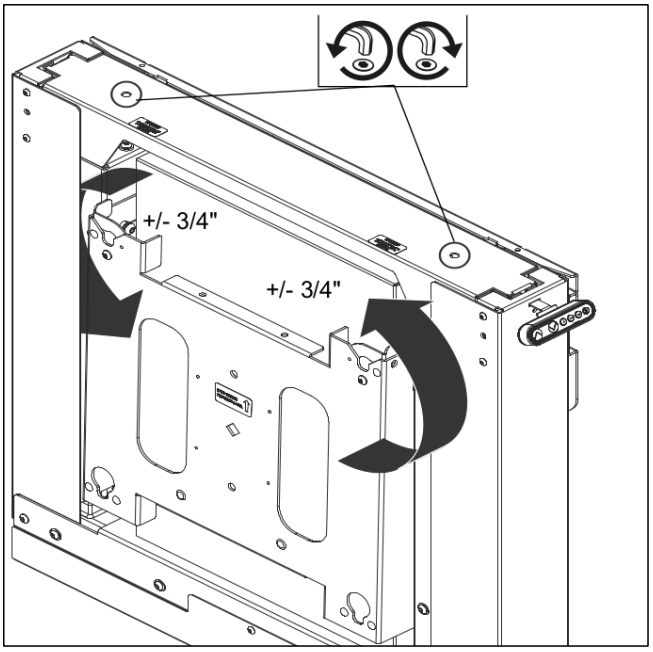
【図-39】

■ 高さレベルの保存

1. 「UP」および「DOWN」ボタンを使用して、希望するプリセット レベルに達するまで高さを調整します。(図 39 を参照)
2. 記憶するには希望する高さで「SAVE」ボタンを押します。(図 39 を参照)
3. 3 つのプリセット ボタン (・、・・、または・・・) のいずれかを押して、プリセット位置を保存します。(図 39 を参照)
4. 必要に応じて、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

■ レベル（水平）調整

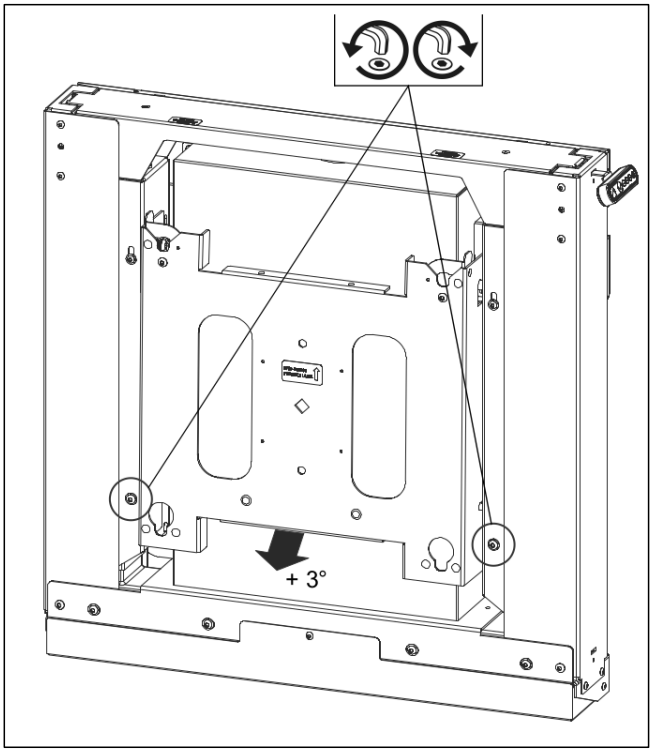
1. レベリング調整ネジをアクセス穴から +/- 2cm以内の範囲で水平が取れるように調整することができます (図 40 を参照)。



【図-40】

■ 垂直調整

2. 設置条件の関係で、必要に応じて垂直調整ネジを調整して、上向き最大+3° まで調整することができます。下方向には調整できません (図 41 を参照)

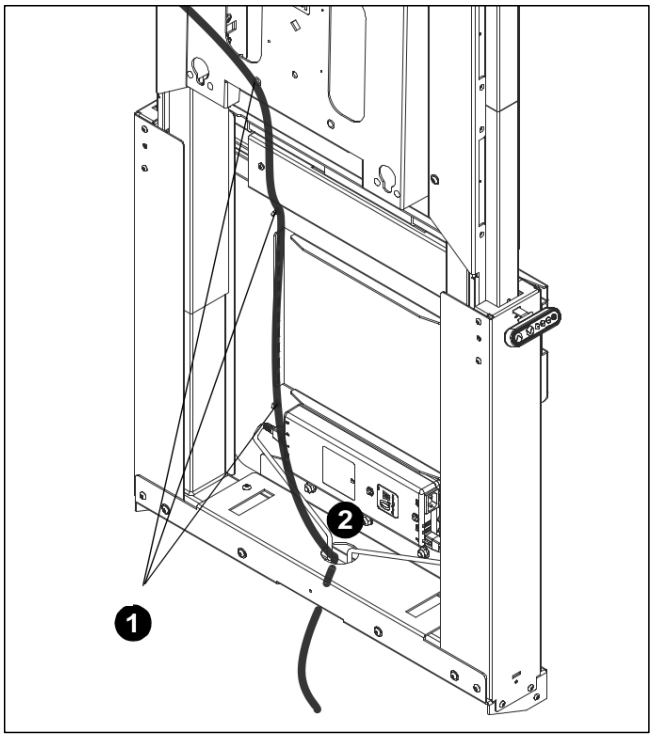


【図-41】

■ ケーブル管理

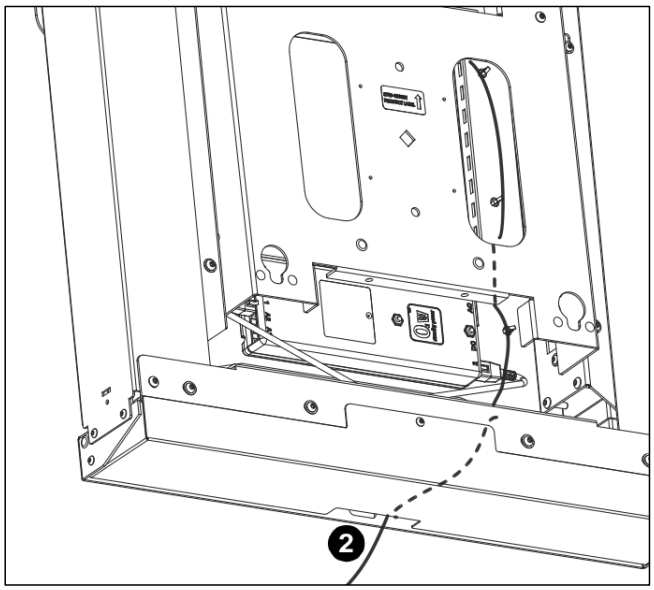
重要！：マウントが最も高い位置にあるときにケーブルを配線し、ケーブルが十分な余裕を持って取り付けられるようにします。

1. ケーブル クリップおよびケーブル タイ (C) を使用して、必要に応じてケーブルを配線します。 (図 42 を参照)



【図-42】

2. マウントの後ろに電源ボックスが取り付けられていない場合は、底部カバーの開口部を通してケーブルを配線します。 (図 42 を参照) および (図 43 を参照)



【図-43】

■ トラブルシューティング

リフト機能が正常に動作しない場合は、トラブルシューティングの手順に従ってください。これらのいずれも機能しない場合は、ディーラーまたはお買い上げ店にお問い合わせください。

1.動きが不均一な場合は、コントロールボックスを初期化してください（リセット操作）
・リフトが下限に達するまで「下」ボタンを押し続けます。
・「下」ボタンをいったん離す
・ふたたび「下」ボタンを5秒間押し続け、すべての動きが停止するのを待ってからボタンを離してください。

2.動作しない場合は、以下を確認してください
・コントローラとアクチュエータ間のケーブルコネクタの接続部分をすべて確認してください。

・コントロールボックスへの電源ケーブルの接続を確認してください。

http://www.avc.co.jp/

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関 西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2021 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.

2021.07作成